

2019年1月21日

日本皮膚科学会
理事長 天谷 雅行 先生

一般社団法人日本動脈硬化学会
理事長 山下 静也



家族性高コレステロール血症の疾患啓発ご協力のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は大変お世話になっております。さて、家族性高コレステロール血症 (FH) は高 LDL コレステロール血症、アキレス腱肥厚などの腱黄色腫を特徴とする主に常染色体優性遺伝疾患です。ヘテロ接合体は 200～500 人に一人の割合で存在し、重症のホモ接合体も 16 万～100 万人に一人の割合で存在することが報告されており、実地医家が最もよく遭遇する心血管リスクの高い遺伝疾患です。ヘテロ接合体は早発性冠動脈疾患を発症しますが、ホモ接合体は非常に重症で、若くして心筋梗塞を発症して死亡率も極めて高いことが知られています。日本動脈硬化学会では、成人と小児の FH 診療ガイドラインを作成し、医師やメディカルスタッフを対象の講演会を開催することで疾患啓発活動も行っておりますが、まだ十分な状況ではないと認識しております。

特に、FH ホモ接合体は幼少時からアキレス腱黄色腫、皮膚結節性黄色腫、眼瞼黄色腫などの特徴的な所見を呈しますが、診断されずに成人期になって冠動脈疾患を発症してから発見される場合が多いのが実情です。上記の黄色腫は皮膚科医の先生方が最初に遭遇されると機会が多いかと存じますので、皮膚科の先生方に是非とも FH を周知して頂き、発見されたらすぐに内科、特に動脈硬化専門医へご紹介して頂きますようお願い申し上げます。FH も早期に発見することができれば、早期治療が可能で、心筋梗塞になるリスクを減らし、生命予後の改善が可能となっております。つきましては、貴会の学術集会にて FH や脂質異常症の皮膚病変を取り上げて頂き、可能であれば FH に関するシンポジウムを日本動脈硬化学会との共催にて開催させていただきたくお願い申し上げます。

ご協力をご承諾いただける場合には、本学会の事務局宛にご連絡くださいますようお願い申し上げます。日を改めて具体的なご相談申し上げたく存じます。お忙しいところ恐れ入りますが、2月28日までにお返事いただければ幸甚に存じます。何卒ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

<お問合せ先>

日本動脈硬化学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-28-8 日内会館 B1

Tel : 03-5802-7711 Fax : 03-5802-7712

e-mail : jas@j-athero.or.jp